

ゼミ活動報告 「NTN 株式会社への企業分析報告」

沖野 帆乃花

11月7日に、NTN 株式会社を訪問し、7月から行ってきた企業分析の結果について、プレゼンテーションを行いました。プレゼンテーションでは、「新領域で大きく成長！ な～ん～て伸びしろ～」というテーマで、マルチプル分析と財務分析で発見したことと、DCF 法により算出した理論株価について発表しました。

私たちは、NTN は風力発電や航空機向けの事業の需要増加や AI・IoT・EV といった技術革新に着目し、今後大きく成長すると予想し、強気の成長シナリオで理論株価を算出しました。算出した理論株価と現実の株価の間



に差はあったのですが、レポートを隅々まで読み込み、企業訪問や工場見学をさせていただいた経験を踏まえての理論株価なので、私たちは自信を持っています。今回が企業の方々の前でプレゼンテーションをする初めての経験だったので、とても緊張したのですが、精一杯 NTN の成長に期待する熱い思いを伝えてきました。



企業分析の報告の後は、いつものように企業の方との懇親会を行いました。懇親会では、実務のお話や、企業分析の裏話、今後 NTN チームが進めていく研究についてなど様々な話をして、とても楽しい時間を過ごしました。

企業分析を始める前は、NTNについてわからないことがたくさんあったのですが、4か月かけて企業分析をし、NTN チームは日本一 NTN に詳しい学生になったと自負しています。7月に初めてNTN を訪問し、ベアリングやドライブシャフトについて教えていただき、9月には工場見学に招待していただいたりと、とても贅沢な4か月間でした。NTN にどっぷりはまり、NTN の今後の成長性について話すのもとても楽しかったので、終わってしまったのが寂しいです。NTN の今後の成長がとても気になるので、また数年後、後輩にも分析してもらいたいです。

企業分析を通して、会社を經營することの難しさを改めて感じましたし、理論株価と現実の株価が乖離した原因を探ることで、多くのことを学ぶことができました。このような貴重な経験をさせていただき、誠にありがとうございました。

